

### 3. ECT の危険性とその発生率

**治療の危険性：**ECT は全身麻酔によって施行される治療の中でも最も安全なもの  
の1つです。ECT に伴う死亡あるいは重度の障害の危険は5万回に1回程度であ  
り、出産に伴う危険よりもはるかに低いと報告されています。きわめて稀に発生  
する死亡事故は、通常心血管系の合併症によるものです。

**副作用と合併症：**ECT を施行した患者さんが麻酔から覚醒した直後に混乱するこ  
とがありますが、これはおおむね一時間以内に治まります。最近起きたこと出来  
事の記憶が損なわれることや、日付、友人の名前、社会的な出来事、住所及び電  
話番号などが思い出せないこともあります。大抵の患者さんではこうした記憶障  
害は数日から数週間の中に治まりますが、非常に稀に施行数ヵ月後から数年間に  
渡って記憶力の低下した感覚が持続する方もいます。いくつかの治療技法は記憶  
障害の発生を防いだり、最小限に抑えることが出来ますが、こうした技法の選択  
については担当医が相談することになります。また、知的能力あるいは記憶力に  
与える長期的な影響はこれまで認められていません。